

安心生活



保険 ローン、資産運用
「マネーに関する様々な疑問に答えてくれるのがファイナンシャルプランナー(FP)」。しかしどうやってFPを探せばいいのかが、相談料金ほどの違いがあるなど、具体的な活用方法は意外に知られていない。賢い付き合い方を探った。

大森市に住む西平隆さん(30、仮名)は約一年前、FPの井戸美枝さんの元に駆け込んだ。従来は同居していた母親が隆さんのために一千万円の死亡保障の終身保険に入り、保険料を負担していた。結婚を機に支払いを引き継ぐよう頼まれたが、額は月一万五千円と負担が大きかった。井戸さんは「そもそも自身時代に大きな死亡保障は不要だったし、介護特約など追加は不必要な特約も多かった」と話す。結婚後は死亡保障の必要性は増すが、一定期間内に死亡とすべきだけ保険がおりる定期保険に比べ、終身保険は割高だ。隆さんは井戸さんのアドバイスでその保険を解約。無償な勤務先のグループ保険を使い、一千万円の十年の定期保険に入り直した。入院日額五千円の医療保険も新たに付けたが、月々の保険料は三千円ほどに減った。

A. 独立系FP会社の一例

Table with 4 columns: 名称, 所在地(電話番号), 相談料(相談), 特徴. Lists various financial planning firms and their services.

料金は会員料金の場合と、初回(ヒヤーター)料金の場合が異なる

B. FPが検索できる主要サイト

Table with 3 columns: サイト名(運営者), アドレス, 特徴. Lists websites for finding financial planners.

野がある。また「実務経験があるかないかで大きく差が出る」(家計の見直し相談センターのFP、藤川太さん)。

FPの個性見極め相談

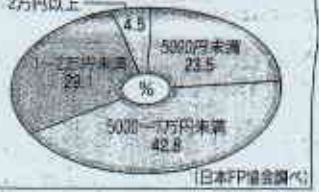
得意分野・実務経験をチェック

約八割が業務内容が多かれ少なかれ知っている(日本FP協会の調査)。しかし、実際にFPにマネー相談をする人はまだ少ない。「どう相談すればいいのかわからない」などが主な理由のようだ。それでも大きなライフイベントの際に、活用しようとする人は増加中。東京・目黒市に住む小池太二さん(31)、友紀さん(29)夫妻もそうだ。FPの存在は前から知りつつも、きっかけがつかめなかったが、十月、出産と住宅購入を立て続けに迎えて、FPの元を訪れた。友紀さんはロインの組み方などで効果的な

信頼関係築いてライフプラン設計

アドバイスを得た。今後も人生の重要な転機にはFPに相談したい」と話す。ではどうやってFPを探せばいいのか。表Aに独立系FP会社の例をまとめた。日本ではFP資格を持つ人の約八割は保険や証券などの金融機関に属する。金融機関系FPは自社の金融商品の販売を主な収入源にすることが多いが、独立系FPは原則的に、特定の金融商品にとらわれずにロインや保険、相談料などのアドバイスをして相談料などの収入を得る。ただFPには税金、保険、社会保険などをそれぞれ得意分野

C. FPの1時間当たりの相談料



FPに3資格保有者30万人
FPが保有するのは「金融資産設計」「不動産運用設計」「ライフプランニング・リタイアメントプランニング」「リスク管理」「タックスプランニング」「相続・事業承継設計」の六分野。FP資格には日本FP協会が認定するAFP、その上級資格で国際資格でもあるCFP、さらに二〇〇二年度に国家資格になったFP技能士(一・二級)がある。試験を実施するのは日本FP協会と金融財政事情研究会が、Aも保険会社と代理店契約を結んでいるケースもあり、絶対に公平とは言い切れない。例えばはるかに質問もせず加入している保険証券を見ただけで、別の保険を勧められるようなFPには要注意だ。保険プランを作成するには家族全員の福利厚生、長期的な計画などを知る必要がある。「色々詳しく聞いてくれるFP」なる信頼できる。面談してるときはFP自身も試されていると岩水さんは言う。相談料の体系は会社によってまちまちだが、プランCにあるように、一時間当たり五千一萬円の料金を取るFPが多いようだ。実際にプランを作成する場合は数時間必要などとも多いので、三万五万円になる場合が多い。資産運用のポートフォリオ設計となると、十万円以上になることもある。「入り口は保険など特定の項目の相談でも、その後にはライフプラン全体の見直しが必要になることが多い」(エフティプランネットの井戸美枝氏)。このため月会費を取って会員制にし、継続的な関係を築こうとするケースも多いようだ。FPとCFPの試験は日本FP協会のみが実施する。現在、日本にはFP資格を持つ人が約三十万人いるが、そのうち約十五万人が日本FP協会に所属している。これは各国の協会の中で最多の人数だ。ただ「主婦が資格だけ取っているようなケースも多く、日本の比率は少ない」(CFP資格の世界標準を策定する米FPSSBのノエル・メイ事務局長)。数の多さが、その主眼の厚さにはつながらないようだ。(手塚愛実)

「FPと面談するときにも注意すべき点がある」と指摘するのはノースアイランドのFP、岩水慶子さん。例えば「保険の見直し相談。独立系でFPにCFPの試験は日本FP協会のみが実施する。現在、日本にはFP資格を持つ人が約三十万人いるが、そのうち約十五万人が日本FP協会に所属している。これは各国の協会の中で最多の人数だ。ただ「主婦が資格だけ取っているようなケースも多く、日本の比率は少ない」(CFP資格の世界標準を策定する米FPSSBのノエル・メイ事務局長)。数の多さが、その主眼の厚さにはつながらないようだ。(手塚愛実)